

平成 29 年度「中学生ふるさと民泊学習推進事業」実施報告書

周防大島町立安下庄中学校 第2学年（18名）

平成 29 年 8 月 22 日～8 月 24 日 実施

1 活動のねらい

- 大島の魅力を再発見し、郷土愛を育むとともに、高齢者を中心とした地元住民との体験交流を通じて、思いやり、助け合う心を培う。
- 農漁業のやりがいや楽しさを学ぶとともに、働くことの意義について考え、進路選択の一助とする。
- 共同生活を通して、規則正しい生活習慣や集団行動に必要な力を身に付ける。

2 全体の指導計画 【主な活動地域名：周防大島町東和地区】

	期 間	活動の内容	単位時間数
事前指導	6月8日	○民泊体験学習とは	5
	6月22日	○民泊体験学習にむけての事前指導	
	7月6日	○周防大島で民泊体験をした生徒の保護者の話の紹介、自己紹介カードの記入	
実施	8月22日～	○漁業体験(漁船や海岸からの海釣り) ○調理体験(魚の下ろし方、そばの打ち方)	18
	8月24日	○家業体験(ひじき干しの手伝い、芝刈り) ○農業体験(野菜の収穫) ○浴衣の着付け、お抹茶の作法体験	
事後指導	9月4日 10月25日～ 10月29日	○民泊振り返り・お礼状書き ○民泊壁新聞の作成	6

3 活動の展開

8月22日(火)		8月23日(水)		8月24日(木)	
12:30	学校集合	8:00	起床・朝食・家業体験	8:00	起床・朝食・家業体験
13:00	入村式・対面式	12:00	昼食・家業体験	9:00	離村式
13:30	各民泊家庭へ移動 家業体験	18:00	夕食・入浴・自主研修	10:00	学校着
18:00	夕食・入浴・自主研修	22:00	就寝		
22:00	就寝				

4 実施上の留意点

○ 指導上の留意点や工夫した内容等

民泊学習中に受入家庭や生徒同士の交流を深めるために、スマホ持参の禁止だけでなく、テレビや本など個人で楽しむものの使用をなるべく避けるよう助言した。

○ 評価における工夫や留意点

事前指導では、生徒の発言や発表の様子を観察した。自己紹介カードの記述も生徒の個性が見えるように書くよう指導した。

民泊当日では、巡回時に生徒の様子を観察したり会話をしたりした。また、受入家庭の方々と会話をして生徒の様子を確認した。

事後指導では、活動の記録（民泊のしおり）の記述やお礼状の記述を読み、生徒が感じたことなどをくみ取った。

民泊のまとめでは、壁新聞を作成した。写真を使用し、内容やレイアウトを工夫するよう意識させた。



【家業体験①ひじき干し】



【家業体験②置き網漁】



【家業体験③船釣り】



【家業体験④火起こし】



【家業体験⑤芝刈り】

5 活動の成果と課題

(1) 成果と課題

○ 事前事後のアンケート調査結果の考察

早寝早起きなど規則正しく生活できる生徒が増えた。魚を釣ったり、さばいたりすることがこの活動を通してできるようになったと回答する生徒がいた。全体的に自然を守っていないといけない、農漁業は大切な仕事であると感じる生徒が多い。

○ 児童生徒や学校等における教育的効果

生徒が地域に興味や関心を持つきっかけとなった。挨拶や返事など学校で指導されることが実生活で役に立つことを確認した。

○ 参加した児童生徒の感想

受入家庭の方が、本当の家族のように接してくれて嬉しかった。魚釣りはしたことがあったけれど、モリで突いて魚を捕ったことはなかったので、貴重な体験をさせてもらえて、楽しかった。

● 指導上の課題点等

受入家庭によっては、十分に家業体験ができない班がある。

(2) 今後の改善点

役場の方に介入してもらって打合せだけでなく、実際に受入家庭と打合せを行い、農漁業体験どちらもさせてもらえるよう確認をする。